

起案用紙（委員会記録伺）

(1号)

議長	副議長	委員長	事務局長	局長補佐	係長	担当	文書取扱主任
起案日	令和4年11月10日			処理区分	<input type="checkbox"/> 重要 <input type="checkbox"/> 至急 <input type="checkbox"/> 例規 <input type="checkbox"/> 公示 <input type="checkbox"/> 議案 <input type="checkbox"/> 秘		
決裁日	令和4年11月13日			保存	<input type="checkbox"/> 永 <input checked="" type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 即廃		
登録番号	四議第396号			公開	非公開理由		
分類番号	04 - 02 - 01			<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 時限非公開 () ()	四万十市情報公開条例第9条に該当 () ()		
簿冊番号	04 - 03						
委員会名	総務常任委員会			会議年月日	令和4年7月12日(火)		
				会議時間	10時00分～16時40分		
出席委員	委員長 西尾祐佐			欠席委員	委員 前田和哉		
	副委員長 山下幸子						
	委員 上岡正						
	委員 谷田道子						
	委員 川村真生						
	委員						
その他							
執行部出席者	地震防災課長 山本 聡						
	" 課長補佐 濱町 一幸						
	企画広報課長 山崎 行伸						
	企画広報課副参事 中田 智子						
	" 主幹 田中 祥平						
	まちづくり課長 桑原 晶彦						
	" 課長補佐 津野 智宏						
事務局	事務局長 西澤 和史						
	事務局長補佐 岡村 むつみ						
記 録							
<p>令和4年6月定例会において、継続調査となった所管事項の調査のため、委員会（管内視察）を開催しました。その概要については以下のとおりです。</p>							

■委員長挨拶により開会。

●まず、中筋川ダムを視察し、堰堤改良事業について説明を受けた。

この事業では、これまでゲートの無かった常用洪水吐きに新たに洪水調節が可能なゲートを設置し、ダムから下流で甚大な被害が発生している時または恐れがあるとき、下流の河川管理者または自治体の要請があり、今後雨が降る恐れがなく、ダムの洪水調節要領にまだ水をためる余裕がある場合に、四国地方整備局長の承認を受け、ゲートを閉める操作を行うことでダムから流れる水の量を減らし、中筋川の水位を低下させることで、浸水被害や内水被害の継続時間の軽減を図ることが可能となる、とのことであった。また、ポイントごとに説明を受けながら、ダムの内部も見学した。

●次に、相ノ沢川総合内水対策にかかる事業を視察した。この事業は、内水反乱に起因する浸水被害が頻発する相ノ沢川及び楠島川流域において、内水氾濫による家屋の床上浸水被害を防止または軽減させるため、国土交通省・高知県・四万十市が一体となってすすめているもので、三者から説明を受けながら、楠島川放水路及び排水樋門、排水機場の工事現場を見学した。

●次に、旧下田中学校に移動し、(仮称)京都看護大学四万十看護学部看護学科の施設整備現場の視察を行った。現地では、施設整備計画(案)を見ながら施設整備等の説明を受けた。

●次に、大川筋地区緊急用ヘリコプター離着陸場を視察した。これは、近年全国的に多発化、激甚化している大雨災害や、近い将来必ず起こると言われている南海トラフ地震などにおいて、斜面崩壊による道路の寸断等が想定され、う回路が少ないことで孤立することが懸念される大川筋地区住民の安心・安全を守ることを目的に整備したものとのことで、整備内容や費用などもあわせて説明を受けた。

●最後に、大川筋集落活動センター準備委員会委員との意見交換会を行った。

【西尾委員長】

集落活動センターの今までの経緯と今後どうしていったらっていうのを確認しながら、意見交換させていただきたけたらということで、お時間いただくような形になった。今後に向けて、議会の方も協力できることなど、お互いに意見交換しながら、いい方向に進めていけるような話し合いができればなと思っている。どうぞ、よろしくお願いします。

【集落活動センター：伊与田会長】

活動センターの準備委員会ということで、令和2年2月から集活センターを立ち上げようと動き始めている。地区のアンケート等で一番需要が多かったコインランドリー事業。有機的な農業で生産した特徴のある農産物や、年配の方たちにも生きがいになるような事業により開発した商品販売の配送拠点として、休校になった川登小学校を活用する事業。廃校になった小学校を使ったワーケーションスタイルの宿泊事業や、リモート授業で行う農業系の学校を開校することで家賃収入を得る事業など計画し、大川筋地区の民宿をやっている人などからいろんな意見を聞きながら、本年度具体的に着手しようという流れになっている。

【集落活動センター：宮本事務局長】

事業計画の中の高齢者の生きがいづくり事業について補足説明。マッサージチェアを利用する事業計

画について令和3年度の総務委員会で指摘を受け、地区の農産物を用いた加工品開発やものづくりということで大幅に見直しをした。議会の意見も聞きながら、運営が持続的にいこうという事で今の計画になっている。

【上岡 正委員】

集落活動センターの事業費はどんな概算になるのか。

【山崎企画広報課長】

補助金で言うと、市から3年間で最大6,000万円。1/2は県から出る。4年向こうから自立をしていただく条件になる。まず地域で積み上げをしていただいて、時間をかけて練っていただいている。これが黒字になるような県のアドバイザー制度があるので、そういったことも絡めて、収支の部分でも安心して頑張っていただける体制に持っていきたいと思っている。

【集落活動センター：宮本事務局長】

実際の事業費は来年度からになると思う。

【集落活動センター：伊与田会長】

今、数字出して、というのが自分らでわかりません。

【上岡 正委員】

良心市的な考えは？

【集落活動センター：宮本事務局長】

良心市的な考えは持っていない。

【山下幸子委員】

営業的なことというか、そんなことにも力を入れていかないけないのではないかな、という感じもしますがその辺は？

【集落活動センター：伊与田会長】

今、(株)よきものという三里の会社で、主に首都圏にチェーン店を持った、こだわったチェーン店と取引している。イタリアンスパゲティのチェーン店とか、いろいろこだわりを持ったチェーン店に行くような流れにするような段取りでやっている。

【山下幸子委員】

わかりました。あともうひとつ、宿泊のセクション、これはどういう？

【集落活動センター：伊与田会長】

全国に宿泊できる(株)ホビモの話。年会費を払って、全国の提携している宿泊施設に無料で泊まれるという仕組みを作ってくれているので、その仕組みを利用して小学校をワーケーションスタイルにしたかどうかという提案です。

【山下幸子委員】

家族連れなんかで帰ってきたとき、実家がどんどんつぶれてきて、お盆なんかに帰ってきたときに実家では宿泊できないような状況になっているとか、休校や廃校になっている小中学校なんかを使ってね、小学校なんかを使えるような、宿泊できるようなところがあったらいいのに、という声なんかもうかがっている。そういう声なんかもないわけではないので、利用しながら、試していただいたら、

【集落活動センター：伊与田会長】

会員制のスタイルでやるのか、今言われたようにだれでも泊まれるスタイルか。宿泊のスタイルによって、ホビモのような集客にするか、何人泊まっていくらかとかというやり方もあるので、今から検討し

たらしいと思う。

【上岡 正委員】

どうぞやってください。応援します。

※最後に西尾委員長がお礼の挨拶をし、意見交換を終了した。

■委員長報告は正副委員長に一任することとし、管内視察を終了した。

●中筋川ダム視察



●相ノ沢川総合内水対策事業視察



●(仮称) 京都看護大学四万十看護学部看護学科の施設整備現場視察



●大川筋地区緊急用ヘリコプター離着陸場視察



●大川筋集落活動センター準備委員会委員との意見交換会

